

前立腺癌に対して重粒子線治療を受けて10年以上経過された皆様へ

(臨床研究に関する情報)

QST病院では、QST病院で前立腺癌に対して重粒子線治療を受けて10年以上経過された患者さんの長期的な治療成績および有害事象を解析することになりました。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんの一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 前立腺癌に対する重粒子線治療の長期治療成績について

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究期間] 研究機関の長の許可日～2027年3月31日

[研究責任者] 岡東 篤

[研究の目的] この研究の目的はQST病院において前立腺癌に対して重粒子線治療を受けて10年以上経過した患者さんの長期的な治療成績を調べることです。

[研究の方法]

●対象となる方々

2007年9月から2013年2月までに、QST病院（旧重粒子医科学センター病院・放射線医学総合研究所病院を含む）において前立腺癌に対する重粒子線治療を行なった患者さん

●利用する情報及び利用方法

2024年4月までに得られた以下の臨床データを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

（生年月、治療日、Gleason Score、iPSA値、生検日、生検時の陽性core数・割合、ホルモン療法の詳細、重粒子線治療の詳細、治療後のPSA値の変化、局所再発日、PSA再発日、遠隔転移再発日、死亡日または最終観察日、追加治療の有無、有害事象と発生日、再発後の治療経過、治療前後のMRI、CT画像、QOL情報等）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません。（個人情報保護法および研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自身のデータを使って欲しくない方（又は代理人の方）は、下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。実施期間中、解析開始後であってもお申し出のあった日以降の解析に際しデータを除外いたしますが、個人情報が切り離されてしまった後では取り除けない場合があることをご了承ください。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

量子科学技術研究開発機構 QST病院

岡東 篤 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

